


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和元年 8月19日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第7号	質問議員	2番	山崎政司 
件名	(仮称)山北スマートインターチェンジ新設に伴う土地利用について			
要 旨				
<p>山北町では、この半世紀の間に3回の高速道路建設工事が行われています。最初は、昭和44年5月に開通した東名高速道路であり、酒匂川から望む眺望、都夫良野トンネルなどと併せ山北町の名を全国に広げました。</p> <p>その後、東名高速道路の渋滞緩和を目的とし、平成3年に上り車線の新設、拡幅工事が実施され現在に至っています。</p> <p>そして今回、今までの通過するだけの高速道路から(仮称)山北スマートインターチェンジの新設が平成26年8月連結許可を受け、高速道路からの乗り降りが可能となり、山北町の玄関口として町民の期待もより大きくなっています。</p> <p>新東名高速道路のインターチェンジは、山北町を挟み秦野市と小山町にも設置される事となっており、秦野市・小山町においては、すでに周辺の土地整備構想も発表されています。</p> <p>(仮称)山北スマートインターチェンジの新設に伴う町民の期待が大きい事から町民の期待に応えて頂きたく質問をします。</p>				
<p>1. 山北町の玄関口と位置付ける(仮称)山北スマートインターチェンジ周辺の土地利用構想について、現状どこまで進んでいるのか。基本計画や実施計画も併せて町民に説明すべきと考えるがいかがか。</p> <p>2. 今年度、周辺の土地利用構想について(仮称)山北スマートインターチェンジ周辺土地利用計画策定をコンサルタントに業務発注したと聞いていますが、発注に当たり町長として、将来どのような山北町の姿をイメージしているのか伺いたい。</p> <p>また、秦野市や小山町がすでに土地利用構想をまとめ、着実に年度展開</p>				

を進めている現状を見ると山北町の対応は余りにも遅いと言わざるを得ません。平成26年8月に連結許可を受けた後、今日に至るまでの取り組み経過を伺いたい。

3. (仮称) 山北スマートインターチェンジの整備推進として、第5次総合計画に2019年度・2020年度の2年間で推進期間としていますが、その後の具体的実施計画及び予算計画について伺いたい。
4. (仮称) 山北スマートインターチェンジ設置工事に関し、清水やまなみ橋の設計から町の負担が発生していると聞いていますが、スマートインターチェンジ完成まで山北町はどの程度の財政負担が必要となるのか。また、その財源はどこに求めることとなるのか伺いたい。
5. 秦野市・小山町のインターチェンジ周辺土地利用構想及び基本計画、年度別実施計画について、町としてどのように捉えられているか伺いたい。
6. 総合計画を見ると(旧)清水小・中学校跡地活用の推進を2019年度より2023年度にわたり進める事としていますが町長としてどのように活用すべきと考えているのか。又今後どのように実施に向け進めていく考えなのか伺いたい。